

本提案における1人1台端末の活用（まとめ）

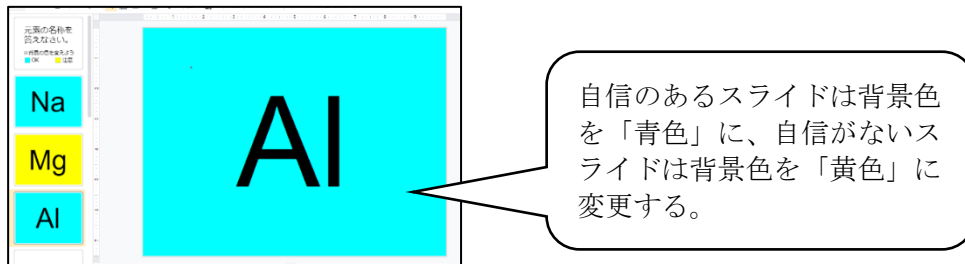
I. 学習形態 一斉学習 個別学習 協働学習

II. 利用するICT タブレットPC (Windows Chromebook iPad)
実物投影機 大型提示措置（大型モニター、プロジェクター）
その他（ ）

III. 利用するサービス ・Google ドライブ ・Google スライド ・Google フォーム

IV. 場面によるメリット（一人一台端末活用のよさ）

- (1) 【理解度に応じた個別最適な学び】Google スライド で作成したデジタル教材を用いて反復学習を行うことで、確実な知識の定着が期待できる。さらに、定着度に合わせてスライドの背景やスライドの表示順を変えることで、個々の苦手や進捗に応じた効率的な学びとなる。また、指導者がGoogle ドライブ 内の生徒のスライドを閲覧し、それぞれの学習状況を把握することができる。



- (2) 【理解度に応じた個別最適な学び】Google フォーム で回答した採点結果（正誤）を、すぐに生徒にフィードバックすることで、本時の学びの定着度を各自で確認することが可能となる。

【時間短縮・校務の効率化】複製が容易にできるデジタル教材の利点を生かして、一度作成した小テストをコピー&修正することで、短時間での作成が可能となる。また、採点を自動化することで、採点の時間の削減と結果のデータベース化が容易にできる。

